

事業所名 児童デイサービスにじいろ柴又

支援プログラム

作成日 令和6年 10月25日

法人（事業所）理念		のびのびと過ごす時間を大切にして、無理な押し付けではなく、ひとり一人の個性を大切に将来はより多くの人たちとコミュニケーションが取れることを重点にしている。			
支援方針		1. 児童が楽しみに利用してくれる場所 2. けがの無い安心・安全な場所 3. 個々の特徴を大切にする 4. お友達やスタッフとのコミュニケーションの力を養う			
営業時間		平日14時00分から18時00分まで 土・祝・長期休暇10時30分から16時30分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	①健康管理 ②生活管理	○毎回の体温測定 ○トイレ意思の伝達に絵文字利用	○体調の目視 ○絵文字ツールを用いた意思の確認 ○手洗いの生活習慣	
	運動・感覚	①運動機能向上 ②感覚機能向上	○バランスボール・トランポリンでの姿勢保持・上肢下肢の機能習得を目指す ○始業時のラジオ体操の恒例化	○音楽に合わせて体を動かし感覚リズムを養う	
	認知・行動	①認知機能の向上 ②行動範囲の拡充	○組み立てブロックを用いて創造性促進を養う ○近隣に散歩活動を通して交通ルールを学ぶ	○少数人数でのゲーム遊びでルール等認知機能を身につける ○休日には様々なイベント見学を企画し広く生活体験をする	
	言語 コミュニケーション	①言語促進と理解 ②コミュニケーション	○スタッフと会話・ジェスチャー等で意思の伝達を図る ○児童同士のグループ活動のメニューを設ける	○文字ツールによる言葉の復習の訓練を施す ○より多くのスタッフとのふれあいを大切にする体制	
	人間関係 社会性	①人間関係の構築 ②社会性の構築	○利用者同士による目的達成意識を遊びを通して達成させる活動をする（集団生活での目的意識構築） ○買い物体験（おやつ・遊具等）・公共交通機関の体験による一般社会生活のマナー・ルールを学ぶ機会を企画する		
家族支援		相談支援事業・個別面談を各3名体制で行い、家庭内生活の理解と支援計画を充実させる	移行支援	○コミュニケーションの力を養う ○様々な環境（場所・人達）を体験企画	
地域支援・地域連携		○児童館で健常児童とのふれあいによる成長を促す ○防災訓練を地域商店街に協力を依頼し連携強化	職員の質の向上	法人内の他事業所でのクロスチェックによる評価を実施し、参考・改善等を定期的に行い向上させる	
主な行事		①定期的に避難訓練 ②誕生日会（月1回） ③お祭り（ひな祭り・節句） ④夏祭り（各種出店・スイカ割等） ⑤体験型施設参加 ⑥ハロウィンパーティ ⑦クリスマス会 ⑦おやつ作り（児童参加） ⑧買い物体験			